

成功のキは“技術の蓄積”にあった!

技術革新の歴史を検証し、21世紀の方向性を探る

技術革新は

どう行われてきたか

新しい価値創造に向けて

馬淵浩一 著

【目次】

第一章 技術革新の文脈

- 和時計から西洋時計への展開 生産技術の習得
- たたら製鉄から反射炉建設まで 知識共有ネットワークによる技術革新
- 鉄道技術の移植 全面的技術移転とリバース・エンジニアリング
- 工業大学の設立 人材育成と産学連携による技術革新
- 織機から自動車へ 基盤技術蓄積による技術革新

第二章 技術革新の構造

- わが国における電子顕微鏡の開発 産学連携による技術革新
- 新幹線の開発 横断型研究開発による技術革新
- 医療X線画像のデジタル化 社内蓄積技術による技術革新

第三章 技術革新の方向

- 在来左官技術「たたき」の再生と展開 循環型社会構築と技術革新

技術系管理職 必読

著者: 馬淵 浩一 まぶち・こういち

名古屋市科学館主任学芸員。名古屋工業大学大学院博士課程修了、工学博士。技術史・産業技術イノベーション、産業遺産などを研究。

〈著書〉『IT時代の産業技術博物館構想—技術の保存継承が拓く21世紀のモノづくり』(玉川大学出版部 2001.2刊)
『日本の近代技術はこうして生まれた—産業遺産をヒントに考える』(玉川大学出版部 1999.11刊)

定価(本体3,619円+税) A5・260頁
ISBN978-4-8169-2094-3 2008年2月刊行

2019.3

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名	注文書	技術革新はどう行われてきたか —新しい価値創造に向けて 定価(本体3,619円+税) ISBN978-4-8169-2094-3	冊
		■お名前	